

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-77)、
廃棄物管理施設(52)、MOX燃料加工施設(2-40))」

2. 日時：令和5年7月21日(金) 14時45分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任
安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安
全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係
員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他3名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年7月19
日及び7月20日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方について、令和5年7月20日のヒアリングを踏まえて説明
すべき事項等を整理し、個別のヒアリングのスケジュールを示す。
- ・申請対象設備の分類及び構造設計等に係る整理について、次回は閉じ込め
機能及びその関連条文に係るグローブボックスの構造設計等に関する資
料一式を示す。また、わかりやすさの観点から一部資料を分けて説明する
場合は、コメントリストに紐付けた添付資料として説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年7月19日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年7月20日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和5年7月20日 日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-76)、廃棄物管理施設(51)、MOX 燃料加工施設(2-39))

<https://www.nra.go.jp/data/000441926.pdf>

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	お返ししました。
0:00:03	それでは曾田の声日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設廃棄物管理施設、また令和5年2月28日に申請があった。
0:00:17	MOX燃料加工施設の設工認申請について、
0:00:21	イワモトにヒアリングに政治ですか、行うものになります。
0:00:25	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。村長会議室からコサクフジワラハバサキタジリキシノオノ。
0:00:36	明ヤマグチ、その他外部から、
0:00:40	カミデ、
0:00:41	オオハン、
0:00:44	以上になります。それは日本原燃の方から出席者紹介し、
0:00:49	資料の説明書いてください。
0:00:52	はい。日本原燃事務局仲間でございます。
0:00:56	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:00	Steeringチームより、ケツク、
0:01:03	ノモト、
0:01:04	イシグロ、
0:01:05	タカヤイシハラ。
0:01:07	あと6ヶ所からですけれども、MOX事務局、最初に事務局参加させていただいてございます。
0:01:15	それではですね
0:01:19	昨日、ご提出差し上げました今後の進め方及び、7月19日、ご提示させていただきました共通住民修正方針について互角ご確認いただきたいと思います。
0:01:31	それでは説明の方開始させていただきます。
0:01:35	はい。弓削西原でございます。まずすいません資料出して、恐縮でございます別添1と1の一番頭にある或いは別紙1がついていないと、そもそも私たちは、すいません。
0:01:47	私が抜けると全部抜けてしまう。
0:01:58	それで、1ポツの構造設計との説明でございますが、(1)①、MOXでやらせていただいている影響というのを、資料の修正方針についてということを進めていきたいと思っております。

0:02:13	機能の設計分類とかの話も含めると、下線で引いたところに今後の進め方費やでと書いてますがこれも今日も個別費としてちゃんと区切って、やらしていただければと思います。
0:02:26	ので個別費用で19日のおととい出した資料で今日やって、また283日ということで続けさせていただきたいと思ってます。
0:02:35	はい。
0:02:36	あとは、はい、古作です。ごめんなさい。規制庁コサクですけども、今の
0:02:45	この案件は、共通住民の個別ヒアってということになると思うんですけど、
0:02:50	その時に機能ヒアリングを踏まえたものと、MOXの方っていうのをどういうふうに進めていくのかっていう、何か整理があれば教えて。
0:03:02	はい。与儀西原でございます。はい。
0:03:06	前、前からお話してる通り最初にとかでやって設計説明文にもですね共通上にをどう作るかっていうことを意識しながらやらないと、設計説明ぶり結局整理ができないところもありますし、
0:03:17	あとは、昨日のヒアリングでアノフジワラさんからご指摘あった重大事故のMOXを後でやりますよと言いながら、幾つも個別でやんなきゃいけないことも多分あるはずなので、そういうことを、
0:03:28	絡めてというか共通でどう示していくかっていうことを絡めながら、分類の仕方についてご説明をさせていただくということで、
0:03:38	何をやりたいのかをアイテムごとにしっかりと立てて、整理をさせていただきたいと思います今みたいな、単純にキーワードで書くと何やってんのかなくなるので、何をやる目的でヒアリングとかを、スケジュールで明示させていただきます。はい。
0:03:53	規制庁コサクです。わかりました。そうすると共通12のヒアリングっていうことで、
0:04:00	スケジュール登録しつつ、そのときの題材がそのうちのどこなのかということを確認させていただくということで、よろしくお願ひします
0:04:09	はい、西田でございます。承知いたしました。はい。おっしゃっていただいている通り最初の設計設計部にも何のためにやってるかって言ったら、結局共通にを作っていくと駄目なので、
0:04:20	そこがちゃんと目的がわかるように、整理をさせていただいて、
0:04:26	はい。
0:04:29	続きまして、一つの(2)の再処理の方の設計説明文が昨日やらせていただいて、

0:04:37	今瀬対象物と、分類で示したものと条文との関係でどういう関係にあるのかというマトリックスをしっかり作っていくと、その中にはSMを合わせてやって、
0:04:47	リレー性で、合わせ技にするところ、DBの中でもこれとこれは一緒にできるようにみたいなことが、整理としてわかるようにですね、進めていきたいと思っています。
0:04:57	そこがいつできるかは、ここでは番場の日付かけますけど、そこも含めて、今後速やかに検討してスケジュールに落とさせていただきます。
0:05:09	はい。
0:05:10	2 ページ目の②番の重大事故も同じですね昨日の話を踏まえて、1 ポツのところの、DSAの集計は先ほどの設計説明分類をどうしていくかっていうところにも絡みますし、
0:05:24	あとは日本の構成のところは 1027 との関係でどうしていくのかっていうところを整理してなきゃいけないので全体としての作業ステップというかプロセスですね、これをちゃんと明確にして、あの中に 17 との関係であったり、
0:05:38	設計説明文で共通事項の関係であったりということの、どこで何を決めてどこニワ橋を渡すのかということ整理をさせていただいてスケジュールに落としていくということをさせていただきます。
0:05:50	はい。
0:05:52	規制庁コサクです。今の話で、作業の方向性は、
0:05:57	昨日の話でももう共通理解になってると思うんですけど、
0:06:01	順番で言うと、この 2 ポツの方が先。
0:06:06	にあるのかなって気もしてたんですけど。はい。堂本考えてます。はい。日本原燃石田でございます。はい。
0:06:14	2 ポツでやることっていうのを大分もともと当初から限定していたので、そういう意味で 1 と 2 を完全に切り離して作業を考えたんですけど、昨日の話も含めて、
0:06:25	余りにもちょっと短絡的な部分があったので、関係性をちゃんと整理をしてですね、そうなる中市の中で 2 をやってるっていう作業になるので、そこをちょっと整理をして、この構成をどうするか目的は何なのかっていうところを、
0:06:39	今一度整理する必要があるかなっていうのが昨日のお話を受けて考えたところですよ。

0:06:44	規制庁コサクです。わかりました。その意味だと1、12と分けずに全体として、
0:06:51	進めますの中で、その中で最初にやるべきことは、重大事項、
0:06:57	DBでそれぞれ何をやるべきかっていう整理をして、関係性を整理をする。
0:07:03	その次にそれを踏まえた設計説明分類での整備と、
0:07:10	添付のセットっていう分かれて、その時は共通12と、十時17ということで分かれていくと。はい。
0:07:18	それから進む、それぞれ進めていきますよと言って十時17が整理がつくと。
0:07:24	添付の記載ぶりの方針が整理されるのでまた戻って共通住民の中の資料2の、
0:07:34	真ん中辺の記載がっていうことになってくるんです。
0:07:37	はい。
0:07:39	はい。
0:07:41	続きまして、具体的で竜巻と書いてある。はい。はい。日本原燃の石堂ですが、外部の竜巻の部分ですけれども、ヒアリングを
0:07:52	した際にですね、
0:07:55	本当共通の話に入っていくのが、数字であるんですけども、入口にしっかり出すと。
0:08:01	という意味ですね、も共通、1問のヒアリングでも話題になりましてですね
0:08:08	マトリックスといいますか。うん。挙績方針を変えて、当然、
0:08:13	オンダタナべて、
0:08:15	それが共通、
0:08:17	その設計方針を受けてどのような構造になっているのかといったものを文字にしたものを、一度お出しさせていただく。
0:08:24	そこでは、構造というと必ずしもその業績方針だけじゃなくて他条文のところも、関連して構造の温度が出てくるでしょうから、
0:08:33	そこについては、この段階で若干トムスクに見えるかもしれませんがけれども、その他条文のこここのところを
0:08:41	非常に呼び込むというか、を意識した構造になってるといったところぐらいはですね、何とかちょっと書いたものをお話したいと。
0:08:48	おります。

0:08:49	構造図なんですけれども、こちらのところに書かせてもらってますように、ラビリンス構造に関わるものとそれ以外のものというふうになんと書かせていただいておりますね。
0:09:00	今回は、我々のラビリンス構造と言っているものについては、
0:09:06	すべてを出し、
0:09:08	図として、
0:09:09	お話をさせていただいて、なおかつラビリンス構造とは、そういった報道で、
0:09:17	これ、
0:09:18	これはこれまで議論してなかったかもしれないんで、
0:09:21	それはちょっと次回の説明という形でさせていただきたいと。
0:09:25	残りの図に関しましては、その次のヒアリングに間に合うようにですねちょっと用意させていただいて一式を出させていただきます。
0:09:32	いうことを考えておまして、そこでの整理が正しいですか、
0:09:38	中身を提示して、共通理解ができれば、ヨシダ共通受理を、
0:09:43	お出しさせていただいて、そこで舞台、お話をしていく。
0:09:48	いう段取りにしたいというふうに、
0:09:53	規制庁、谷井です。いわゆるそれ以外のものっていうのは、対策設備の話。
0:10:00	一般的にそれ以外のっていう、
0:10:02	我々考えているのは、
0:10:07	要は
0:10:08	パンゲア、
0:10:12	そのうちの一部アベニッタっていう、
0:10:17	対象設備っていうと守られてしまった時点で特に構造がっていうことで、
0:10:21	ないので、
0:10:23	それが1日でくるといったイメージ。
0:10:28	はい、片桐です。対策設備である。
0:10:31	実態はわかったんですけど、対策設備のうちの一部がラビリンス構造だとは思いますが。その部分だけ拡大して持ってくるっていう意味ですか。
0:10:39	そうですね。すいません。
0:10:41	人間練習。
0:10:45	構造が大リース構造。
0:10:47	何枚か重ねるとかですね。

0:10:50	邪魔板は、
0:10:52	どういった構造をしてるかっていうのがわかるものを、プラス、
0:10:56	そういうイメージ。
0:10:58	規制庁の田尻です。これはネットであってもオビタであってもどういったところにどういったものを付けますよっていうのは1回、全部がおかしく示してもらっていてそれぞれのこういったところに開口ありそうだっていうのが多分見えるようになってきていて、それぞれの開口部に対してこんなふうに違うってのがわかるように、入れそうっていう
0:11:16	のが下のタシ口です。
0:11:18	わかりました。
0:11:24	対象が、
0:11:25	何かを明確
0:11:27	みたいなの。
0:11:28	対策設備と銘打ってなくてもその構造を期待してるものって出てくるじゃないですか。
0:11:35	もともとあるコサクです。規制庁コサクです。
0:11:39	今のやりとりで多少は認識ずれないのかなって気もしつつ、
0:11:45	またエンジンチームに行くそうですね、曲解して、限定して対応してしまうみたいなことが発生して、これまで行ってですね、
0:11:56	そういう点で不安がぬぐえないっていうのが正直なところで、
0:12:00	ラビリンス構造に係るものっていう表現だと、多分ラビリンス構造と思う。
0:12:07	かどうかの認識の違いで、
0:12:11	ものが変わってきちゃうので、基本、
0:12:15	的には入らないようにしますよというところと言えば空気取入口網。
0:12:23	これの一部だと思ってるんですね。
0:12:26	そういったところでいうと他の建てやあの
0:12:32	建屋と設備の間みたいなところもう同様な話で、建屋側も一緒でしよっていう話が抜けてないようになっていうようなことだったり、
0:12:40	いろいろあると思うので、
0:12:43	開口が何らかある。
0:12:46	もの。
0:12:48	侵入を防止していくという視点で、もれなくやって来られるものと思ってますので、その点が間違えないようになってちょっと目を光らせて、

0:12:59	いただければ
0:13:01	思います。
0:13:04	10 人です。
0:13:06	しちゃったんですけど、ラクティスコウノっていうふうに言ってるけど何か扉をつけますとか言ってたやつも込みで、開口への区分があるということですか。はい。小阪です。今言われたのは、
0:13:20	結果ダブルス構造にならないんだけど、これまでは開口って言ってたでしょっていうところも含めてねってことですね。
0:13:27	それはこの間ヒアリングの時にも話をしてた、変わるものは全部入れてねっていうのと、同意だと思うので、そこもプラスにしといてください。
0:13:37	ソーラーに本来の仕事です。すいません、今、曾田としたら少しちょっと僕が考えなきゃいけないかなと。
0:13:46	は、
0:13:47	ノダ美術構造というのは、隙間があるけど、迷路構造にするので、入らないってというのは、ごめんなさい、コサクです。それはそうなんですけど。
0:14:01	どちらかというラビリンス構造の構造について統一的に説明することというタスクでは本来なくて、開口を設けるといったことに対する対処方針を、
0:14:13	全体的に確認させてもらおうと。
0:14:17	いうタスクとってるんですね。そうすると、これまで開口を設けるといったところをふさぎますっていうのも対象方針なので、はい。それについてもあわせて説明して欲しいということです。
0:14:30	今、
0:14:31	設けなくて、今まで、
0:14:33	空いてたところをふさブロック置いたりっていう、
0:14:36	伸ばしたりして塞ぐところも、
0:14:39	ダブルスコードじゃないやろうけども、
0:14:41	今まで開口部として認めてたやつに対応についてご説明する。うん。
0:14:48	日本原燃、目的もいろいろ何回かに分けて、次段階で説明していく中で、
0:14:56	当初 1 階の入口んところが綺麗なロビーになってて、ガラスだったんですけど、こんなところにあるヒライヤノって言っちゃうのか、壁に変えたりっていったことも一応全部説明をして、だからこうなんですみたいな話になってるので、そういうところをちゃんと残しといた方がいいかなと。

0:15:12	古作です。それですね、そこまで準備してませんでしたってことで今悩まれてるのかなと思うんですけど、綺麗な絵じゃなくてよくて、
0:15:24	方向性とか、どういうふうにするのかっていう、方針が明確に伝われば、暫定的な絵で構いませんので、議論ができるようにだけしといてください。
0:15:43	どういう措置をするのかっていうのが、はい。何と何か見える形で、はい。森下。
0:15:49	成長とですね。ただし、前まで示した図面でここに科目も変えてここにいたのはしますといたしますと、構わなくてあの図でわかりやすいんですけど、別にそのことまで積みたいわけじゃなくて、ちゃんとそれぞれ対策とるんですよっていう話が重要で、
0:16:05	かつ板ふやしましたら、また結局体制の話だけ。
0:16:09	早く慣れてない。
0:16:10	時間も短縮広げたり、また近いところに行って受けるとかという対応をする必要がないように一応状況確認したいっていう形なので、もともと竜巻防護対策は全部僕たち思います。けど、相手が何かあります。ANAに対してどうしますってこの部分をしっかりチェックして、
0:16:26	よろしくお願いします。
0:16:36	はい。それでは日本はい。2ポツの入力地震動の策定の一番、
0:16:46	でございます。
0:16:47	010203の構成は前回から変えてございませんけれどもこの1週間の進捗を踏まえまして記載は区別しております。
0:16:57	①の建設表層地盤に係る追加検討の部分、ここにつきましては現時点におけるプロセスのところ前回までですね、その社内の知見を
0:17:10	社内外意見を持ってる方々と相談して調整してやり方決めていきますみたいな形だったんですけども今やり方決めて、非常に検討を進めてますのでそういう記載に改めております。
0:17:20	で、3ページ目の方のbポツ、当社の追加のところですけども、こちらは7月20日昨日資料提出いたしましたして、7月27日にヒアリングをお願いしてるところでございますのでその状況をアップデートしてございます。
0:17:36	②のデータ拡充も補足説明資料の修正、これにつきましては、一つ、一通りですね7月13日にヒアリングいただいたところでございますけれども、その時にコメントをいただいております。

0:17:51	いう状況でございます、そのところが現時点におけるプロセスのところ、と記載してございまして、その細かなポイント全部書き下しはないんですけど大きく言いますと、
0:18:01	4以上の検討のプロセスの第4日野検査センターのプロセスについて、ちゃんと整理したものからこう出てくるといったことを追加する必要はなく、それから平均の検討について、根拠の充実適用性に係る考察を追加と、
0:18:16	いうところがざっくりとしたお話だったかなと。
0:18:20	これ、
0:18:20	今後ですね、これをこの次の③の資料提出日で対応するというので、一番最後にいただいておりまして、これ4月30日に資料として、
0:18:33	ところに乗っかるということで、4ページ目の③でございましてちょっとカドイます。ここには先ほどのコメント対応が乗っかってくるという形になります
0:18:44	とうぎん、
0:18:47	前にかかるそう。
0:18:50	そういうことは、
0:18:51	院長でござい。
0:18:52	以上でございます。
0:18:58	藤規制庁カミデですけど。
0:19:01	耐震を
0:19:03	追加調査の話来週またヒアリングしましょうっていうと、それ以外の、それ以外っていうわけでもないですけど一通りの説明が入ったものを、08としてまとめましょうというのが、7月31日でできますというのは
0:19:22	特に変わらない情報なんですけど主なところとしてはそんなもんだと思うんで、
0:19:28	今、3ページぐらいにわたっていろいろ書かれてますけど、注射選択をしてもらってポイントだけ話ができない。
0:19:39	中身について、
0:19:43	っていうのは、今日はないです。以上です。
0:19:47	日本原電の宇津でございます
0:19:49	もし、記載を散発した
0:20:03	はい、長浜崎です。
0:20:05	4ページ目最後のところですね。

0:20:09	追加データ、Dたについてはツジっていう形なんですけども、これ最終的には③の中に含まれる。
0:20:16	根井さんというか、
0:20:20	ね。
0:20:22	例えば、別紙として、起こす、新しく起こすと。
0:20:26	或いは、
0:20:28	減衰の中に組み込む。
0:20:31	そのあたりも、
0:20:33	この日に載ってございます。
0:20:35	この出てくるものは下水のものと表層のものが出てくるんですけども、今のイメージとしては神戸日野さんの減衰と別の4の表層の
0:20:48	ペーパーの中に組み込んで、そこの何て言うかね、っていうんじゃないんですけども子供につけていくというのが自然なんだろうなどは、
0:21:00	ちょっと宮城さんというのは、ご案内かなとは思っていますので、
0:21:06	ただちょっと聞きやすいよね。
0:21:11	放射状に浮き上がりやすい。
0:21:14	結構内容はその数、
0:21:17	調査計画、
0:21:18	人事、
0:21:22	どちらが現地とか放送に、
0:21:24	どちらかに入れるっていうのは、
0:21:26	何ていうか、あまり自然じゃないと思いますし、そこら辺、皆様から含めてですね、構成を、
0:21:34	考えてもらえれば、
0:21:36	日本原燃の方でございます。おっしゃる通り一つの先が違って、減衰や、
0:21:43	いう方が見やすいかもしれないので、
0:21:46	そこは、これは止めてください。
0:21:54	規制庁コサクです。ちょっと悲しい改修は終わりでいいですかね。
0:21:59	はい。
0:22:00	はい。コサクですけどその後ろのスケジュール表ですけど、これまでの話で
0:22:06	もう少し整理をしてっていう古藤なので、設工認のヒアリングの関係は見直してもらえばいいんですけど、

0:22:15	本
0:22:17	それ以外のものが、もう一通り書いていただいているのでちょっと気になるので確認。
0:22:22	ざっとさせていただければと思います。
0:22:24	まず事業変更許可の震源特定せずの関係は
0:22:30	QMS関係の整理の状況を、区の面談でって言うてるのが、来週前半にあつて、
0:22:38	再補正があるということなのでそれを踏まえての、
0:22:46	所整理資料か
0:22:47	の提出というのはその後ということなので、
0:22:53	来週
0:22:54	中、
0:22:55	来週、再来週か。
0:22:57	補正が、
0:23:00	月末って言われてたんで、来週末なのか、その図、最初の頭のかわかりませんが、あつてそのあと2をな、なるべく、
0:23:12	遅くならないようにっていうので出されるっていうことなので、来週、
0:23:16	はい。
0:23:17	早めに出していただいたということだと思って。
0:23:20	ます。
0:23:22	あそこの後段は書かれて今ないようですけど、はい。
0:23:27	そろそろ見える化していただきたいことかなと思います。
0:23:31	それで戻って来週のところでいうとIIIASインターフェースの関係が、水曜資料提示の企業、
0:23:41	の面談となっているのは、これもはい。
0:23:46	今週、
0:23:49	うん。
0:23:52	粘弾やっていただけの機能です。すいませんもう1軒わからなくなっちゃって申し訳ないです。昨日の面談を踏まえての対応を今整理中だということだと思ふんで、
0:24:03	それを踏まえて修正をされるという認識をしています。ただ
0:24:09	面談でもお話ししましたが、
0:24:13	ずるずるとやってくような作業では本来この制度はなくて、その次の議論がしっかりと時間をとらなきゃいけないということだと思ふので、

0:24:25	あまり悩まずに、ササッとやって面談に挑んでいただければと、多分足りないこととかいっぱい指摘があると思いますから、
0:24:35	あまり今後詰めずにいいかなと思ってますので調整をし、
0:24:42	いう
0:24:43	フォローです。
0:24:47	等、
0:24:50	27日の面談については、先ほどやった面談の続きと、
0:24:56	いうこと。
0:24:57	だと思しますので、
0:24:59	それを
0:25:02	やって、その次が先ほど話のあった追加データの所、計画のヒアリング、
0:25:08	いうことで
0:25:13	28日の
0:25:17	今後の進め方冷やという古藤ですけど、
0:25:25	先ほどもちゃんと個別ヒアと分けて考えますというところの、
0:25:30	共通中に関係ということですけど、これもあれですよ。
0:25:35	この日でやるのか、どうするのか整理。
0:25:40	一方で、進め方日はどうすんのっていうところなんですけど、ここまでの経過時間でいうと、20分ぐらい。
0:25:53	以前もう
0:25:55	短時間で、状況確認、認識共有しましょうねということをやった時にも30分程度、
0:26:03	30分程度で言いながらちょっと個別上げないでずると1時間半かけちゃった時ありましたけど、
0:26:09	この程度でやる分にはいいのかなと。
0:26:13	思っはいるんですけど、
0:26:15	そんな時にはわざわざ、東京に来られなくても、今、来られてもいいんですけど、適宜、やる分には30分でも別に構いませんよという気がするので、
0:26:27	また必要性も含めて検討いただければいいかな。
0:26:31	あります。今日の話ぐらいで認識を合わせるというのも大事だと思いますので、適宜、はい。
0:26:45	8月に入ってからのは先ほどの許可の関係なりと、

0:26:50	いうのを入れていただいた上で共通中になり竜巻も共通 12 の関係って いう、
0:26:58	言えば、整理をしていっていただいてということで、はまってけば、
0:27:04	いいかなと。
0:27:05	思います。
0:27:07	で、そこら辺はいつぐらいに、
0:27:11	ご連絡いただける感じです。
0:27:13	はい、日本のイシダでございます。また、許可の関係は、少なくともすい ません来週の頭の方で整理をして、スケジュールは落とした上で提供さ せていただき、
0:27:24	月末に補正するって言ってるのに沿った気がない。はい。
0:27:29	阿藤IIIASインターフェースも、六ヶ所で関係者と話をして、
0:27:38	まずは、オオハシのプロセスをちゃんと整理して、そこに対してスケジュー ールを落としていくっていう形だと思ってるので、そこをやった上で、このスケ ジュールの中に落とせるように、大丈夫であんだとかいうたいと思います す。はい。
0:27:51	あと共通要因の関係の整理は、竜巻間も含めてちょっと社内で議論 して、はい。共通 2 の関係だよっていうのがわかるようにした上で、何を やるのかっていうのはタイミングは、先ほどの
0:28:05	対象物があやふやないようにっていうことも含めて整理をして、これもス ケジュールとして提示できる。
0:28:13	ちょっとあの段階になってるかもしれませんが菅田も何が反映できて るかがわかるようにして、スケジュールを出します。
0:28:19	はい、規制庁、わかりました。そうすると仕分け
0:28:24	はい。前半のうちに、順番かもしれませんが一通り入れていただけると。
0:28:29	ということで認識をしましたので、ご連絡。
0:28:34	はい、規制庁のタジリですアノ次絵図画面だけちょっと書くカーがあるので、
0:28:39	候補日というか、いつ口座ができそうかっていう状況を教えていただき ます。打田と掛川のれない可能性があるのもそれだけよろしく願います。
0:28:47	はい。
0:28:54	はい。
0:28:55	今日じゃ進め方はよろしいですか。

0:29:00	規制庁丹です。この後のヒアリングでも会話なるかもしれませんが、9月の第1週まで1週間、2週間という形態で9月の開校予定とかも含めて改善する方向に向けたやつも、何となく所々資料ペースを変えたんですけど、
0:29:14	ここもぜひ見直しながら、はい。
0:29:24	振り返り、
0:29:28	山内です。
0:29:31	カラー
0:29:33	それから何かしらありますでしょうか。
0:29:38	はい。
0:29:40	ないと。
0:29:47	はい、植野石原でございます。はい。今日通常前回、内部関係、さらに今週ですね、
0:29:55	我々の方の人繰りの問題でまたさらにてますけど、一応コメントリストが振り返り出たメモに対して、どういう方針かまでは出しながらも、サンプルがまだ全部つけられてないのでこれ28日に合わせて、次出させていたかと。
0:30:11	ということで調整させていただきたいと思ってました。
0:30:14	本日の収入として、共通12から修正方針というところで、
0:30:22	大きくは、耐震部分ですね、耐震の耐震設計のプロセスから、資料2資料3にどう落としていくのかという整理、あと図との関係の整理といったところを、
0:30:34	中心に整理をしてまして、
0:30:37	昨日もありました一番最後に述べ別のコメントの修正対応方針ということで前回までのヒアリングでの
0:30:47	振り返りのメモで書いたものを、
0:30:51	縦に並べて、対応方針を変えて、今回つけてる図との関係があるものは、その図案を変えていくという形で整理をしました。
0:31:01	この表の2ページ目ですかね。
0:31:05	昨日も振り返りのメモのでき云々の話でいうは、会話があつて、一番ちょっと失敗したなと思ったのが2ページ目のところ、緑が書いてある、2-8から2-12までがですね。
0:31:17	ナンバー1-21で示すってばくつと書いてあるんですけど、これ。

0:31:22	スタートのコメントが違うのに、こっちで書きますやっぱおかしいので、それぞれちゃんと対応方針を示すべきだったということで、これも次回出すときには、修正をして出させていたかどうかと思ってます。
0:31:33	結局は次の 1-21 で耐震設計のプロセスを並べたところで、最初は 2-1 と 2-2 の書き分けの理由がですね、
0:31:44	2-2 に偏ってるよねっていう話だったところが、危険で、コメントがあるのがあったので、それに対して修正はしたんですけども緑枠のところでさらに、
0:31:54	その
0:31:55	添付書類との関係が整理できてないよねっていうところで、フローと添付書類の関係、それをしないと、資料に落としに行けないので、その辺の整理が必要だねっていうのが 2-8、2-9、
0:32:07	の辺りですね。
0:32:09	D2 の中に来ると今度はこれほどこと関係するかは No. 1-22 っていうのが、上のほうの青の枠で、有限要素モデルを用いて評価するっていうその理由が、
0:32:21	これだとよくわからんという話がスタートがあって、単純に有限要素モデルでやりますって書いただけなんで最初は、その根拠を閉じ込めとの関係で、前回示しはしたんですけどそのリンクがまだやっぱり弱いねということが、2-10 のコメント。
0:32:36	なのでこれも 1-21 に示すはかなり乱暴で、もともとが 22 から出てるのに、21 に戻るわけがないのでこの辺も、今回の図とかの構成で、そういうところの整理をしたつもりでありますけど、その辺をちゃんとコメントリストに反映する必要がある。
0:32:52	と思ってます。はい。
0:32:56	というような整理をまだしきれてないところがありますのでそこをしっかりやった上で、これが本当に対処方針になってるのかっていうところをやはり、
0:33:06	我々出すのはもうちゃんとチェックをしてやらないといけないので、
0:33:09	そういうところができない、コメントですがやっぱりよくないということで整理をして進めていきたいと。
0:33:15	はい。
0:33:17	一番悩みながら、
0:33:21	やっている部分ですね、資料の修正方針の資料でいきますと、

0:33:27	11 ページが、前回のコメント不研究と言った耐震設計のプロセスのフローを、なんですがこれに対して、ここで2-1にあるものを、2-2 でやるべきものっていうのをそれぞれ整理をして仕分けをします。
0:33:41	これがこの間のいきなり資料2で、それとの関係も紐付けもなく、飛んでいたところを何とか紐付けをしたいと。
0:33:49	ということで整理を今考えているところです。
0:33:52	13 ページにですね、表があって、先ほどの11 ページのフローで抜き出した2-1になるでやんなきゃいけないよねっていうところを、縦軸に抜き出した上で、構造設計として説明すべき内容なんですかというところ後、
0:34:07	ここもかなり乱暴にやっちゃって、整備にやんなきゃいけないという認識はあるんですけど添付書類との関係をそこで整理しようかなと。
0:34:14	今、右側に場面添付書類等で展開すべき事項と書いてあって、非常にプロパーとバーツと。
0:34:23	文章があって、ただ添付が右側見ると四つぐらい並んでるんですけど、これは本来、添付書類の目的がそれぞれあるので、
0:34:31	その目的に照らして、どういうことをどこの店舗に書くべきかという整理をしないと、資料に繋がらなくてですね、これをちゃんとやらなきゃいけないという認識がありますので、
0:34:41	もう蓋ひねり3ひねりぐらいしないといけないっていうことで整理としてはこういう形で、構造設計として説明すべき内容を上げた上で、じゃあ、設計方針として何を語らなきゃいけないんだと。
0:34:53	それが今ので部署で見て足りてないんだったら出さなきゃいけないっていう整理をしたいというのが目的でございます。
0:35:00	これをやるとこれが、それで、この添付書類がどうやって出てくるかは5間ちょっとお話した、完全に
0:35:07	いいのかどうかあれですけど19 ページのように、
0:35:10	今回つけなきゃいけない計算書とかいろんな書類から逆算して頭に持ってきてます。このやり方で、右側の先ほどの表の右側の添付書類を当てはめていってるっていうのが今の現状のやり方です。
0:35:22	これをやると、
0:35:24	何ができるかは20 ページで、
0:35:27	資料2が出てくるんですけど資料2の、
0:35:30	上側に書いてあるのは先ほどの表の形で、ここで添付書類ごとにブレイクしていくと。

0:35:36	書かなきゃいけない関係する添付書類が資料 2 の中で明確になるので、これ紐付けをする、さらに 20 ページの下側で先ほどあった耐震計算、
0:35:46	プロセスのどの項目とリンクするのかっていうのを紐付けてあげる。
0:35:51	これを資料 2 でやっておくと、今度は資料 3 で基本設計方針との紐づけて何の耐震計算のプロセスが基本の基本設計方針に基づいて、かつ関係する添付書類が何かってというのが、21 ページ側のように整理ができて、
0:36:05	ではこれと、左側右側の構造設計で言ってることとの差分が何かないのかと、いうことを整理をしていこうというのが今考えているやり方でございます。
0:36:16	さらにそれと 22 ページに図を組み合わせて、
0:36:20	ということで、設計で言ったことが具体的な行動ではどうなってるのかっていうところを示していこうと。
0:36:25	ということで今整理をして、
0:36:27	これを丁寧にやればですね、頭から全部繋がるかなとは思ってます。はい。
0:36:33	それちょっと途上でありますけど 2、3 年に頑張ってるってこういう状況でございます。
0:36:41	はい。
0:36:42	これが耐震の大枠でまずやりたかったことの方針でございました後、
0:36:48	ちょっと話は変わりますが、20、23 ページ。
0:36:52	前回
0:36:54	基本設計方針に関係するせ設備ですね、これが、
0:36:58	設計分類、設計説明文とリンクをして、どの設計を説明するかってのが資料 2 できるんですが、
0:37:05	その対象設備って何っていうところを整理しようということで、
0:37:09	別途、資料 1 の別添として一番最後に資料 1 の集大成として作るパターンがいいかなと思ってるんですけど。
0:37:17	問題は資料 1 だと。
0:37:19	基本設計方針みたいなこの 23 ページみたいな主要設計方針の場も出てこないんですよ。条文しか出てこないの、かつ、悩みどころが 23 ページでいくという。

0:37:30	十条のAの①から④までありますけどこれ基本設計方針でグローブボックスオープンとポートボックスフードっていうグループの中で、瀬古がいくつかパターンがあるので、
0:37:40	この手法になるとこの対象物になりますみたいなことを示していければ、設計方針との紐づけもできるのかなって思って整理をしたんですけど、これ資料1だと絶対できなくて、
0:37:51	資料1と資料に残らない先生が明らかに。
0:37:54	ていうところでどこにつけるのがいいのかも含めて、もう1工夫要るかなっていうところで思って。
0:38:00	やり方として23ページが、条文の基本設計方針とひもづける場合の考え方。
0:38:07	25ページからののが、
0:38:09	条文、
0:38:11	の防数だったり、資料1でわかる範囲。
0:38:14	ひもづけをすると。
0:38:16	紐づけをしようとしても一応できないことはないかなというところではありますけど、これに何か意味があるのかっていうところが、若干引っかかる。
0:38:25	特に例えば25ページでいくと右から2番目にバーって書いてあって許可事項の展開ってありますけど、許可制法みたいなやつで
0:38:33	20近く20(力)になってたようなものはこんな形になってしまうので、
0:38:38	1回これで何の基本設計方針を結びつけるかようわからんということで、
0:38:42	ちょっと1か2どっちがいいか、どこで示すかも含めて、さらに検討を進めたいと思っているところです。はい。
0:38:52	ていうのが大枠でやっていたことで、
0:38:56	細かい話と、やっぱりつけます。
0:39:00	ようにすると、
0:39:03	27ページからが資料3でいくつか指摘あった部分をどうしていこうかと言ってさ、作り込んでいってる最中のものになります。
0:39:17	これもまだ、やりたいないところが幾つかあるので、
0:39:21	先ほどの、
0:39:24	耐震もそうです閉じ込めのいろんな条文で結局は、今の添付書類が下書くことが全部書いてるとは思っていないので耐えないところが多分ある

	だろうと思いながら、それを右の方の構造設計見ながら、こういうことを規定しておかないとこれに行き着かないようになってところを、
0:39:40	一応設計上の配慮事項の中で書いて、添付書類を紐付けて、ここに書かなきゃいけないんだと言って終了して今、太字で青みになったりとかしてこういうところを足すんですみたいなことがわかるように整理をしようと思ってます。
0:39:55	はい。いえ。
0:39:56	これがですねまた、この 27 ページの、
0:40:00	閉じ込めが耐震なんかと紐づく例えば 30 ページ。
0:40:05	これはちょっとまだ記載が工夫が必要だと思ってるポイントですけど 30 ページで、右側にもミギタ条文の展開って書いてあって、グローブボックスの閉じ込め、
0:40:16	機能の、
0:40:17	なるほど。
0:40:19	読めない。
0:40:20	うん。関係のやつがあるんですけど括弧密閉性って書いてあんですよ。こういう書き方すると何だかよくわかんないので、
0:40:26	本来は多分 27 ページで言ってる構造設計の番号とかとリンクさせるとかして、何床が関係するのかっていうところを整理をしていく必要があるかなと。
0:40:36	思ってます。
0:40:38	こうなっこうしないと駄目だと思っている理由が、
0:40:41	ここであってですね、
0:40:45	グループ等それが如実に現れてですね、43 ページぐらいからずっと図が、前回あったグローブボックスで閉じ込めと耐震関係するよね。それ 1 枚書かなきゃいけないっていうのがあるんですけど、
0:40:57	そういうことを意識しながら作りながらも、
0:41:00	先ほどの有限要素法モデルみたいなやつになると全体をカバーして展開するので、
0:41:07	ページとして見るとですね、2615 ページ。
0:41:12	65 ページに運営は、解析モデルの考え方を変えていって、下にグローブボックスの構造設計でどれとリンクしてるかをページ番号だけ言ってるんですけど、
0:41:23	これだと何の資格とリンクしてるかわからないので、

0:41:26	これを、さっきの表でもリンク取って、図でも、それぞれリンクを取ってどの基本設計、構造設計とこれがリンクしてるんですかってのを、明確にしたいと思う。
0:41:37	そういうことをやって一つの紐付けを整理をしていく。
0:41:40	いうことで考えております。
0:41:43	そこがまだ
0:41:45	一不落冬型と、
0:41:48	思っているところです。はい。
0:41:53	あとは、やって、
0:41:57	あとは、特に次の方は、リンケージをどうするかってところを、悩みながら、
0:42:03	作ってはいます。はい。
0:42:05	例えばですけど、
0:42:09	43 ページで、
0:42:13	左の方に四角い枠が、一番上の枠はあれとして左側に寄ってボックスがあって、
0:42:22	北から二つ目のボックス、これ
0:42:25	コードの話をしてるんですけど、これ結局は、
0:42:30	道満とか、あと部材が柱だったり入りだったりってこれ先ほどモデルの方にもリンクしますんで、そういったことをリンクをちゃんとハラないとです、これ上に着四角を書いたからこれで、
0:42:41	免除ですっていうわけには多分いかなので、
0:42:44	その辺のリーケージをうまくとっていくってことが、
0:42:47	必要かなと思ってます。なのでこのページ、これが先ほどのモデルのところにも絡みますし、
0:42:54	6077 ページ。
0:42:58	前回ご質問あった溶接構造ですみたいな話ですねそこにも多分当然関係がするので、そういうところを紐付けていくと、いうことが必要だということ、
0:43:08	そういう意見関係で、どんどんどんどんレベルを上げていく必要があるかなと思っているところです。
0:43:14	ページ 72 ページですね、以前、ハバサキさんからですかね小関代理溶接ってどこが溶接してるのっていうのがよくわからないんで図は 1 をつけてるんですけどこの溶接をしてるっていうのが、

0:43:25	どことリンクしてますかさっきの閉じ込めとリンクしてるので、そういうところの紐づけをスタートしていく。
0:43:31	ということかと思ってます。
0:43:35	はい。
0:43:37	というところですかね。いや、やりたいことを実現できていっているとは思うんですけどまだ、
0:43:46	具体的には足りない部分があるところを、
0:43:49	どんどんやっていこうと思ってまして、
0:43:53	そうですね後は、
0:43:55	中で話をして、私が1人だけしっくりいってなくてもうちちょっと書き出したいなと思っているのがちょっと飛んで恐縮ですが、27ページ、どっか閉じ込めの関係で今、
0:44:07	オープンとポートボックスとかフードのところに、開口部の風速っていう仕様表の項目で真ん中に記載項目があって、
0:44:14	費用会長の開口部の風速だけじゃなくてですね、開口部を他の風速を達成するために必要な外構の大きさだったり、
0:44:23	個数だったりですね書いてあるんですけどそれが、
0:44:26	右から4番目の青字で書いてある個別補足に繋がる感じになっていて、
0:44:32	そこが、
0:44:33	表のところに書いてないと、リンクがとれなくていきなりなんか右で飛んでウエダいう話が出てくるんで、そういうところを丁寧に、多分紐付けをしていかなきゃいかなのかな。
0:44:43	ということは継続して同じように採用をさせていただきたいと思ってます。
0:44:48	はい。
0:44:49	まだ、
0:44:52	提供してる途中なので、こういうやり方で今やっているという状況でございました。はい。
0:45:00	はい。以上です。
0:45:03	山口です。
0:45:04	この間、
0:45:06	サーバーから、
0:45:07	ございましたらお願いします。
0:45:12	院長の館です。

0:45:13	とりあえず、ちょっと認識の確認なんですけど今回の資料、
0:45:17	分厚いほうのやつでいうと、ごぼう関係っていうふうに言ってあって、
0:45:23	10 ページぐらいから書いてあるけど、安心感みたいな感じがしました。
0:45:27	の考え方でいうと、多分細かさの差はあるものの、若干の考え方変わることは、今最後、最後の方の話ありましたけど、結局機能要件満たすために、必要な設計を進めなきゃいけないところは何かっていうのを整理してそれが申請書の本文であるとか、
0:45:43	いうふうに考えて、足りなかったら、そこを足すんだと思うんですけどそういったところを整理して行って前送りますよね。で、そのときにちゃんとリンクが張れるようなものじゃ考えてるんですよっていうことでよかったですかね。はい。
0:45:54	資料の構成がよくわからない。すいません日本イシダでございますそうですねそういう意味ではゴコウⅡで、今いきなりさっきのような話も含めて書いてますけど、共通的な考え方だと思ってます
0:46:05	構造設計で書くことと添付のサブ見に行くのもそうですし、構造設計で説明することが一体どこから紐づいてくるのかっていうことをちゃんと丁寧に書くと、あとずっともう関係を、
0:46:16	整理して示していくってことは、共通の考え方だと思う。
0:46:21	一応ベースって、その時にちょっとすいませんここどう示されれば認識を確認したいんですけど、例えば今グループ
0:46:27	とかで、
0:46:28	13 ページぐらいの方から詰めても結構あって、
0:46:32	耐震設計で結局担保しなければいけないような機能を維持しなきゃいけないなんてのは何かっていうので十条とかと合わせながら、高いところだと思んですけど、
0:46:42	順序単体では、図をかぶせているのかそれとも何かこっちに飛ぶような形になっている示されるのか。
0:46:49	それぞれですね。
0:46:50	エリアでございます。現状は、リンクがあるものは合わせ技で示したいと思っているので、閉じ込めを閉じ込めるパッケージができて対象耐震でパッケージできるっていうわけではないと思う。
0:47:03	そこの仕分けとあと書き方が難しいなと思うんですけど例えば 43 ページでいくと頭に十条という屋上って書いてあったり、
0:47:11	これが六条だけですとか十条だけねとか、パーツによって変わってくるのでここでしか今、差分が示せないということになる。

0:47:20	なので全体の構成を頭にちゃんと書いてこの条文に関係する構造ってのはこういうものがあって何ページに書いてますかっていうと、少しは交通整理ができるのかもしれませんが、
0:47:30	現状はここだけ書き分けてるのは、
0:47:33	慎重です資料のページ番号とかの臨空仕事はてもらえれば、見れるのかもしれないんですけど、
0:47:41	要は極端な話、どこ行ったっていう感じにならないようにだけしといていただくという結局授業の絡みでもう(1)だけではなくてその事業にも設計を書いてあって、相互に関係するやつどうしても存在してると思うので、
0:47:56	いや、どっちに主軸を置いて並べるかによって取り組みとして並べて欲しいけど耐震に主軸にやると店舗離れたところにいますとかっていうふうにされないような気がしているので、
0:48:06	ちょっと再掲がどれぐらい面倒くさいことになるかっていうところもある程度あると思うんですけど、ちょっと資料を示していただいた上で、皆さん方、ちょっとそこは指摘するかもしれない。ちょっと、
0:48:15	今時点だと、何とも言いがたいところがちょっとあるので、あの状況ありました。
0:48:20	規制庁不足です。
0:48:25	あとせっかく共通 12 の作成方針的にヒアリングを作っていたらいいんで、
0:48:32	今の関係でいうと、
0:48:34	この説明、グループなり、説明、設計説明分類。
0:48:40	いうところに対して何を説明しますかというのは、
0:48:44	審査会合ではもともとは、その一条修条文と言ってることについて説明しますと、
0:48:50	いうことでやっていきつつ、耐震とかをセットじゃないと説明できませんよねということになり、関係条文っていうのもあわせて説明すべきものは説明すると。
0:49:02	いうことで4月の会合ですかね、話をさせていただいて、
0:49:07	ということなので、その、
0:49:13	何て言うんすかね。主軸を忘れないでいただきたいと、ということだと思うんです。それで言うと、
0:49:21	分類整理したところで主条文って書いてあるのが、やはり主
0:49:27	であって、

0:49:28	当たり前ですけど、その関連条文を合わせて整理するというのを、この確定時の頭でその条文確認、いいと思うんですけど。
0:49:38	それがわかるように書いていただくと、多分種を先に書き、
0:49:42	関連部署にかけては、分けているように見えるので、その趣旨が明確にしてもらえばいいんじゃないかなと思います。そうすると、
0:49:52	種がない。
0:49:53	ページが出てくるはずですよ。はい。あります。
0:49:57	てなるので、週わーここは入りませんが、間接だけですっていうふうに見えるように、
0:50:04	しておけばいいという、
0:50:06	で、
0:50:07	1 ページ 1 ページはそうなんですけど全体像どうなのっていうのをやっぱりわかったほうがいいよねってことだと思うので、
0:50:13	資料す。これは資料 3 のルー2 とか何ですか。目次を目次的に表として、
0:50:24	何ページは、通常分と関連団長、難聴、
0:50:28	というようなことだったり、そのうちの
0:50:32	枝番書いてあるやつまで書くと大変なのかもしれませんが、何についての説明なのかっていう、大枠が見えるように、番号だけだと。
0:50:42	内容分かんないかしんないですけど、関連性って意味では多少はわかると思うので、
0:50:47	そういうのを作ってもらうといいのかなっていう気がしました。
0:50:52	はい。日本原燃石田でございます。はい。おっしゃってることは理解をして
0:50:58	そうですね。我々も読んでいながら、今どこだっけ、あるので、その辺の交通整理ができるように目次的なものも含めて検討したいと思います。はい。
0:51:08	はい。規制庁コサクです。よろしくお願いします。それで、
0:51:12	ちょっと先走ったコメントで、
0:51:17	今日の資料だと共通 12 に係る修正対応方針のところ、
0:51:22	審査会合を踏まえてというのを、
0:51:26	何番目ですかね。
0:51:33	はい。1-6 ですかね。
0:51:38	書いてあって、今後っていうふうになってますけど、

0:51:42	これ一認識しないと資料作成もどう作成すれば、会合に繋がるのかわからなくて、
0:51:49	また無駄作業が発生し得るので、
0:51:55	なので議論したかったんですね。今の関係で言うと、資料3の②①③がもしもありませんけど、
0:52:04	重要な、
0:52:06	これをこれをやるっていうことだったんです。はい。一方で審査会合のときに、
0:52:14	この間もそうでしたけど、本体の説明資料として、ザッと流して話をすることと、それを補足する、エビデンス的に後ろにつけるもの。
0:52:25	いう。
0:52:26	構造があって、
0:52:28	共通12の
0:52:31	本件に係るの抜粋を本体にしますかっていうと、
0:52:36	資料1になって、無理じゃないですか。はい。
0:52:39	なので、基本はこれまで話しやっていた通り資料3のこの部分の抜粋になると思うんですよ。
0:52:47	そうしたときに、この部分だけでじゃあ、わかりますか。
0:52:52	ていうのを、
0:52:56	よく、
0:52:57	確認しといて欲しくて、今、今だとその資料3の前に資料2があっってという前提があってるので、番号さえ書いてあれば、紐付けがあるからこれはホース。
0:53:09	方針のこれに対してこうしてるんですよっていうのが、間接的に見えるようにはなってるんですけど。
0:53:16	それが本体説明資料にない中、この
0:53:21	四角囲みの文章だけで、方針、
0:53:24	何の方針を受けたものになってるか読みかけますかねえっていう。
0:53:29	ことなんです。で、
0:53:33	エビデンス的に後ろにですね、資料2とかをそのままどんと積んでもらえるのであれば、
0:53:40	資料2、
0:53:42	じゃなくてもその抜粋したし、資料3のその最初の表でもいいのかもしれないんですけど、

0:53:47	ついて、
0:53:49	ある前提で具体はそっち見てくださってというので、よければまだ政府は政府なんですけど、
0:53:55	とはいってもいちいち見なきゃいけないのかよみたいなのがあるので、最低限のことは、この四角囲みの中で、理解ができるよう、
0:54:04	いうぐらいの書きぶりの意識を持ってもらえると、会合でもそのまま使えるよねと。
0:54:11	ということになると思うんですよ。
0:54:14	先ほどの目次もそれに、
0:54:19	続いて、
0:54:22	どこを見てくださいってということで、わかるようになるのかな。
0:54:26	そういうのも念頭にちょっと考えてもらえればと。
0:54:33	はい、西原でございます。はい。承知いたしました。はい。
0:54:37	前回は、これは私がやらなきゃいけないことですねって言ったまま移ってしまっ、
0:54:41	はい。作業の方針も含めてそこでちゃんと整理をして、進めたいと。
0:54:47	はい。橘田。
0:54:49	よろしく申し上げます。それで、先走ったのさらに先走った感じで、介護資料イメージまでさかのぼってしまいたいんですけど、
0:55:03	大枠でいうと、
0:55:06	本件、
0:55:07	いや、
0:55:08	キタノが4月でしたね。
0:55:11	4月の会合で、
0:55:14	作った。
0:55:16	体系を維持する。
0:55:19	ということだと思うんです幾ら関節が入ったところ、中条、関連条文が入ったところで、基本方針は同じだと。
0:55:28	出まして、
0:55:31	そうする等、説明されていたように、基本、市場分、
0:55:38	閉じ込めですと、
0:55:40	ということだと思うんです。
0:55:43	で、
0:55:49	あれ、これ4月、6月か。

0:55:59	6月にわあ、説明グループから、設計説明分類項目番号
0:56:09	いうのをつけて出していただいて、
0:56:16	閉じ込めはってなる等、
0:56:20	説明グループ1、当然1があり、だから1では十分説明しきれなくて、
0:56:27	部分的ですよ。で、
0:56:30	グループ2の中にも換気設備が有井。
0:56:34	換気設備なりでの閉じ込めっていうのは、グループ2ですよ。
0:56:39	なっててグループさんがまた主閉じ込めで、
0:56:43	てなっている。
0:56:45	いうふうに、3分割で説明しますよってなってて、次の会合のときはグループ1だけっていうことですよ。はい。
0:56:53	なので、閉じ込めやります。ただ部分ですっていうのが最初のページであって、その次にこのグループ空の図面をだして、
0:57:05	三分、閉じ込めとしても3分割です。そのうちのグループ1です今回はと。
0:57:11	いうことを説明いただく必要がある。
0:57:18	グループ1のこの部分をもって説明するのは、隅括弧で書いている、こういう機能についてですということまでがここで説明され、
0:57:28	この機能ですよっていったところの細分化が先ほど言った、本来共通12で、資料2から始まっての、それから引き継いだ資料3の前半部分ってことですかね。
0:57:40	ということになるので、それをどういうふうに示しますか、いきなり図面に行きますか、っていうところ。
0:57:49	ちょっとの間どう埋めるかを検討いただいて、図面に入っていく。
0:57:54	いうことかなと思います。その上で共通順位の関連部分抜粋を後ろに包んでもらうということがあれば、会合として成り立つのかなというふうに思いますので、その点のビジョンをちょっと、
0:58:08	てください。
0:58:10	で、それを踏まえて、今日通常にこれで大丈夫だよっていうことができると、今後、順々に積み上げていく。
0:58:18	いう作業になるかなと思うし、
0:58:20	この関係で何か補足言いたい方が、
0:58:24	規制庁の田尻菅野、都築っていうと甘くて話出て来ましたが、設備分類と関係条文の表があるのかちょっとよくわかんないですけどそれがあると多分そのグループAの123の段階の話、多分繋がりがやすいので、

0:58:37	こちらについてもどこについてもいいんですけど言及できるようにしていただくと、大綱はそれぞれどこに関係するものが相手だからそのうちのここの部分だけ、今回やったんですから、安川ナカザキがするので、
0:58:48	その辺りが、はい、どのように確認をするんですけど、ぜひハヤシいただければと思います。
0:58:57	すいません。カミデです。
0:59:01	閉じ込めとい閉じ込めかグローボックスでも何段階かにという話で、関係はまた今度みたいな話確かにされてたと思うんですけど、
0:59:11	今耐震側で見ていくとその圧力をどれぐらいで設定しますかみたいな話があって、それが資料 3 に展開されてくるとなると、
0:59:23	だから関係設備でどれぐらいに引いてますみたいな話もしておかないと、結局パッケージにならないのかなあとは思っちゃったんですけどそのあたりは何か工夫できそうですか。
0:59:36	はい。姫野イシハラでございます。はい。おっしゃっていただいている通りだと思ってまして確かにおっしゃっていただいた換気設備がへの説明グループ一番と、
0:59:46	2 番と、3 番ですかね、それぞれ展開をされています。今赤羽さんおっしゃっていた構造であったりシステムを決めるために、換気設備で負圧どう、どこまで行くんですかみたいのが重要なので、
1:00:01	今説明グループ 1 の中に換気設備として説明しなきゃいけないのはそれだと思ってエントリーしてます。
1:00:06	グループ 2 グループさんで何が出てくるんだと言われると、火災でのいろんな換気としての、
1:00:14	対策の話であったり、あと溢水で言う、機能喪失高さですかねその設定の話であったりということ
1:00:23	関連するものを分けながらも一応必要なことは、説明グループの一番でリンクを張りながら説明しようとは思ってます。
1:00:35	はい。規制庁神戸です。とりあえず、置いてきぼりにはならないとはありつつ、
1:00:43	あれですかね、資料、今日の資料だと分かんないのかな。当時の 71 ページのところが強くみたいですけど、
1:00:53	うん。感じですね。はい。
1:00:59	71
1:01:00	環境条件そうですね、はい。

1:01:04	換気設備のシステム設計なりとリンクをしたグローボックスの設計でも当然、負圧でどのぐらいいくのかっていう、目標値だったりいろんなシステムとしての関係が出てくるので、そこと紐づけて、
1:01:18	多分整理ができればいいのかなと思ってました。はい。なので、おっしゃっていただいたように、71 ページだけだと相談しなくて、これに 10 条の間、十条じゃない。
1:01:28	十条化の関係する換気としてのシステム設計だったり、グローボックスワード構造だったりリンクしながら取り組むのかなとは思ってました。
1:01:38	補足でそれで言うと、特に市場分って言ってるものに対して、
1:01:47	今後って言ってるものが何なのか。
1:01:51	ていうのか。
1:01:56	前回会合で示された進め方の表だけで読み込めないだったら、先ほど言ったその図に入る間に、
1:02:08	どういう方針なり、考え方があるのかって示してるところ先送りするものを今回説明するもの、或いはその引き継ぎとして、
1:02:18	この機能のうち、ここだ系は説明しますっていうものなのかというのがわかるようになってるといいんだろうなど。
1:02:26	思いますで、今の圧力の関係で言うとシステム設計は多分グループ 1 で説明されると。
1:02:33	いうことなんだろうと思うので、
1:02:36	先ほど図面と言って特にこの構造設計の話しましたけど、
1:02:43	グループ 1 でのシステム設計配置設計ってのはセットで説明されるっていうことでいいですよ。
1:02:49	はい。だからそういうセットにされる等、
1:02:53	ねえ。
1:02:55	ある程度グループ 1 としてまとめようだなっていう感覚が掴めてたと思うので、その導入として入口でこういうことを説明するのがこのグループの役割ですというのを、
1:03:08	前回はこの表を数枚で話しましたが、もう少しかみ砕くと良いのかな。
1:03:15	思います。よろしくお願ひ
1:03:17	はい。与儀ニシダでございます。はい。承知いたしました。はい。
1:03:22	おっしゃっていただいたように前回の審査会合で 26 ページですかね、種条文閉じ込めって書いてあって閉じ込め機能ってか、隅括弧書いてありますけど、これは一体何もんだっていうと、よくわからないところだと

	思うので、そこを整理をして、この、この関連で説明するものが一体どういう枠なのかっていうところを、
1:03:39	明らかにしていけば紐付けも含めて整理できるのかなと。
1:03:43	思います。
1:03:45	一応その時にもう、書き方を
1:03:48	悩みながら、書いてそっか。
1:03:51	メニューを書かなかったとか、
1:03:54	換気設備で後ろにオクやつを一生懸命書いて、ここでちゃんと書かずに、後ろに先送りだけ一生懸命書いてあるからこんなことになるんですね。はい。そこを含めてちょっと整理をさせていただきます。はい。
1:04:11	規制庁カミデです。それで言うと、圧力の話だけしちゃうと71ページでね、説明は要らなくて、
1:04:21	話しましたけどその閉じ込めと耐震、おんなじところで説明してできるは幾らか対応がされてるんですね、52ページとかもそうですけど、
1:04:32	9GBの機密っていうのはこうやって担保してましてと。
1:04:37	いう話クラス耐震では小高を機能維持するんですみたいな話ちまえものにしてもらってるんですけど。
1:04:45	今の圧力の話も、GBの関係等であって高圧オダムタ物件とってこうなってるってという、資料がまたつけばですね、
1:04:57	そこにちなみに耐震のところのモデルに与えるルー圧力は、ここから持ってくるんですとか、これ逃げた化してこういう考え方でやるんですよみたいな話をすると
1:05:08	関係がよくわかりパッケージになるのかなと思いますけど、イメージ図変わりましたかね。はい。イノウエの伊田でございます。はい。ありがとうございます。おっしゃっていただいたような形かと思います。先ほどもまだ
1:05:22	蓋ひねりがいきなり必要だなという、
1:05:25	お話をしました通りその辺リンクは今の時点で換気設備側の条文のものが入っていないところもあるので設備がそれも入るとおっしゃっていただいたように国になるかなと思います。
1:05:40	示し方をよく考えないといけないかなと今思っているのは、グローボックスのチームで出てくる話が、資料(1)がグローボックス(2)で換気みたいなやつでどんどんどんどん
1:05:53	違う資料にパッケージになっていくので、また、タゴシでちゃんとわかるようにですね、右側の整理をしていきたいと思います。はい。

1:06:03	規制庁、草間です。今のそのカミデの話でいうと、
1:06:07	2-2につなげるための記載っていうことにもなるのかなあと思うんですけど。
1:06:13	それも課題だったと思うんですけど今何か、それでこんなふうについていう例示になってるのもあります。
1:06:21	はい。
1:06:23	でございます。今ですね。
1:06:49	まだまだ、
1:06:53	前から話してて構造設計とかいろんな設計と対になる評価はその下に書いてっていうのは一応やっていたただ37ページにあるみたいなの。
1:07:02	真ん中第2構造設計と評価繋がってますけどまだちょっと評価のところの記載が、構造設計を受けて意識しながらのリンクになってないので、まだちょっと工夫は要るかなと思いますけど。
1:07:13	コサクです。まずここをブラッシュアップされるのは、やっていただきたいんですけど、
1:07:19	資料3に行ったときに、図面でまず、その構造設計の骨格じゃないですか。評価基本書かないつもりでいますよね。
1:07:31	決定した時に
1:07:34	セットになってる構造設計が、次評価に繋がりますよっていうのを資料3でも見えるようにねっていう話をしたと思うんですよ。なるほど。
1:07:42	それがまだ配慮できてないってことです。
1:07:48	どこかでやった記憶ある。
1:07:52	ただ、今今回持ってきたものに入っているかという、多分入ってないっていうね。はい。
1:07:58	前もちょっと話が出てたので、その工夫をどうしようかと言って、いろんな吹き出しで書いた時にニノイチの話を書くんですけど、この設計は結局、評価の中でこういうふうに関係するんだよみたいのを、
1:08:11	矢印で書きをすとかっていうことはやろうとは考えてますね。はい。
1:08:16	はい。補足です。イメージは、私もそう思ったので、
1:08:22	そう。それが書かなきゃいけないなっていうときに、耐震の方でも圧力のインプットあるよねと。
1:08:29	いうことだから、その条件になるための設計のところに書こうと。
1:08:35	いうことになってっていうので、落とし込まれる。
1:08:38	思います。

1:08:41	はい、乳井西田でございます。承知いたしました。そういったところで、工夫をしながら紐付けをしていくのもありましてあとは資料3の中で他条文との関係のところできっかりと関連するオダして、
1:08:53	それとリンクをとるとか、いろんな多分やり方があるので、そこも全部まとめて、紐づけの考え方は整理していきたいと思います。はい。
1:09:13	すごい。
1:09:17	規制庁コサクですすごい資料ではあるんですけど、
1:09:23	何だろう、やらなきゃいけないことポイントを整理すればそんなに量が多くないので、
1:09:31	やっていけば腑に落ちる。
1:09:35	ところだと思うんでよろしく申し上げます。
1:09:39	ちょっと
1:09:42	その五つグローボックスやっぱり味噌でいろいろと考えなきゃいけないことが通常と違うパターンが多いので、それで悩むところはあるかなと思う。
1:09:52	音で言うところと言うと、気密性って言いながら、機密じゃないじゃないですか。
1:10:01	はい。ありますから、解雇を許していてということなので、
1:10:06	それで言うと、耐震の
1:10:10	判断基準の中にも、
1:10:15	暴力じゃなく、解雇
1:10:19	変形って言った方がいいですかね、いうところで開口がこれぐらいでおさまるのでっていう話にする場所があって、
1:10:28	そうするとそれを踏まえた構造っていうことになってっていうのがどこに表れてるのかなっていうのを、
1:10:35	ちょっとすいません私じっくり読み解いてないのであれなんですけど。
1:10:40	スキーマー関係かなと思って今だと45ページ開いてんですけど。
1:10:45	今一。
1:10:47	ゆっくり来ないなあっていう気がしていですね。
1:10:53	どうなってきますかね。
1:10:57	はい、与儀西原でございます。はい。実際はおっしゃっていただいている開口がある。あと隙間がある。そこを、
1:11:05	どう維持しますかっていうのが、逆に言うと今、
1:11:09	一つは物一つ一つのパーツの能力で決まったり、あとは

1:11:15	その隙間がちゃんと維持できてるよねってところを、
1:11:19	系統としてっていうのもグローブボックス全体のシステムとして見て気密試験みたいのをやって、機能維持加速度みたいなのと紐づけていくみたいなやり方とか、いろんなパターンがあるんですけど、
1:11:30	それでちゃんとその必要な気密なり何ていうかね、負圧が維持できるっていう担保になってますよねっていうところ我々としては多分説明しないといけないかなと思っていて、
1:11:41	そこはどんなバズがそもそもやることとしてあって、それがどこに散らばってるかっていうところをちゃんと紐づけていくのが必要なのかなという認識をしています。はい。
1:11:54	規制庁コサクです。そこはまだ落とし込まれてなくてっていうことですかね。はい。
1:12:00	はい。規制庁、宗です。わかりました。
1:12:04	それで言う等、
1:12:07	まずは資料 2 なり、
1:12:11	どう機能維持、耐震で機能維持を図るのかということの考えの整理がされてるところを見て、その方針であれば、資料 3 のこの図面だところら辺が必要だよねと。
1:12:24	というようなことの議論ができるようになって、ちゃんと書かれてるかみたいなことを見ていく。
1:12:30	ということになるかと思うので、
1:12:33	その点だとやっぱり耐震のところの機能維持が余りにもう書けてないと。
1:12:38	いうところがやっぱり一番の、
1:12:40	問題点だと思いますから、そこら辺整理をしてまたつければ、
1:12:46	はい、弓削西原でございます。はい、承知しました。今も実際そうですね、ばらけていて、
1:12:54	ロボット響くのかというのがよくわからないまま、平場っていうのが例えば 47 ページにある。
1:13:01	比較の 3 番目ですかね、上から三つ目、耐震要望に応じた設計を地震力が加わった場合に運タナカと書いてあるんですけど、これは、
1:13:10	ちょうど構造強度と言いながら、ここがぶち切れれば当然閉じ込めは担保できないわけで、そのために、

1:13:19	密閉構造になるように設計しますっていうのが、上の欄でそもそもちゃんと書いてないと、下に繋がらないっていうかこの辺を丁寧に書いていかないと、
1:13:28	いきなり密閉構造ですって言われたんじゃ、その密閉構造を担保するために我々はどういう設計をしてるんですか。さらにそれが達成できてることを確認するために、こういう手段でやるんですみたいな繋がりとと思っているので、そういうところはブレイクしながらやっていくのかなと思う。
1:13:44	はい。
1:13:50	今のところ、
1:13:52	どうも。
1:13:54	話なんで、
1:13:55	密閉構造と、
1:13:57	いう。
1:14:00	食うんですけど、さえ、
1:14:04	最後、強度を有する材料になって繋がらないんですよ。はい。これは本当の隠蔽構造のときにはそうなん。
1:14:14	ですけど、
1:14:16	もう上に書いたのはシャッター取付部と書いてあって、
1:14:23	取り付け部ってこれ、溶接でがっちり作る言ってることなんですか。
1:14:29	はい、弓削西原でございます。これは多分、
1:14:33	あったということはまず無理ですね、ボルトでついたりいろんな形だと思わんでケーシングが多分確かグローブボックスと一体になっていて、側がですね、中にシャッターがいい。
1:14:44	うん。話だと思うので、その辺の構造をどうするかっていうのを、そこも含めて、記載を確認しながら、
1:14:52	取り込める関係でどういう設定してるんですかっていうところを丁寧にやってくればなと思ってます。はい。他もちょっと飛んでるところがいっぱいまだあるので、そこをつなぎをちゃんとしていくということとと思ってました。はい。はい。
1:15:06	わかりました。
1:15:09	補足ですそれで言うと、
1:15:11	文章が長いから、それぞれが好きなように書いてしまって、チェックがしにくっていうことかなと思うんで、
1:15:21	もう少し
1:15:23	各校

1:15:24	書くべき内容というのを類型にして、段階的にこれをこう書きましょう、この観点をこう書きましょうで、そうす。
1:15:33	分けて書けるように、繋がりをこういうふうに考えましょうねって、少し整理されると、ポイントが明確になるんじゃないかな。
1:15:42	思います。例えば今の機能の関係からの構造をまず立てます。
1:15:47	その次に配慮すべきものをかけましょうというような形でやれば、
1:15:52	今のやつも綺麗、文章切れると思いますし、この部分で拡充しましょうねっていうのも、
1:15:58	話ができると。
1:16:01	何ですかねステップバイステップで作業ができるように、
1:16:04	整理をしていただければと。
1:16:07	はい、イノウエニシダでございます。はい、ありがとうございます。多分こうなってしまうのが 27 ページと金城さんの書き方がそもそもそうになっているか、それにさせていただいているので、資料 3 のところでも担当端的に物のポイントがわかるような、
1:16:22	項目で書いていくとか、工事店多分ある程度、書き方を類型化していけば、図の中でも同じように展開できるのかと思います。整理を進めます。はい。
1:16:40	そうですね。
1:16:42	やっぱそういうスケジュールはしてるんすけど、規制庁谷ですけど 21 日に示すっていうのは、
1:16:49	コメント系のやつ大体やっていくと書きますよっていうのを、
1:16:55	電気でパッケージ版みたいな場です。
1:16:58	どこまで資料の名前がですね、更新かなんかの書き方されちゃうんで、何か出てくるイメージかなと思った計画にスギタかったんですけど。はい。これもすいません。
1:17:11	関係者でも議論しなきゃいけないもとは、これの後につくものも含めたフルパッケージだと思ってやっています。それで修正方針というタイトルにしてみました。
1:17:21	いやそろそろパッケージ出してもいいんだらうっていう気もしないでもないです。ただ、作業が追いつかないってパターンもありますし段階的にやっぱ新決めて展開しないといけないんで、
1:17:31	それをまた同時にやると、どちらかの可能性もあるんで、それも含めて、はい。

1:17:37	あれだけど、それぞれの資料でどういうことを書きたいのかどういう目的なのかがわかるように1パッケージは考えますけども、はい。
1:17:45	資料123のそれぞれのひとつひとつの項目で何かにかかないと思ってるんですけど全体としてどういう資料構成の方が出るようになるのかっていうのはコメント回答で、それぞれ足し合わせて見えるようになりますというご案内ですけど。はい。
1:17:59	何かそろって見た時っていう話が当然出てきちゃうような気がするので、これはイメージできるような形にできればと思うんでよろしく願います。はい。
1:18:08	規制庁コサクです。それで言うんですけどね共通12に係る修正対応方針の資料で、右側2どこで示しますよっていうのが書いてあるんですけど。
1:18:20	これがその修正方針の提出時に示す、図
1:18:24	7月28日提出予定っていうのはもともと7月28日提出予定だと、今日中にだったと思うんですね。はい。はい。特に一番最初の項目は、
1:18:36	資料作成方針なので、
1:18:38	それこそ共通12の本文しっかりと書いてくれりやすぐだけじゃないかということであり、
1:18:45	中途半端な資料を作る必要はないんですよ本来。
1:18:49	なので、基本は共通中に、
1:18:53	何だろうと思うんです。しかもまだスタートじゃないですか。
1:18:58	スタートDグループ1のやつを入れましたっていうだけで他に影響を与えないので、
1:19:03	共通中に行って、基本やりつつ、何かうまく落とし込めなくていうので補足説明資料、
1:19:11	補足の資料を作りたいんだったら、9Aの
1:19:17	QA能添付ニイツではよくて、
1:19:21	ということぐらいで作っていただければ
1:19:25	宮、こちらとしては見やすいんじゃないかなと思うんです。
1:19:29	そちらの作業として、ふくそうしなくて済むと思うんですけど、どうですか。
1:19:34	はい。弓削ニシウラでございます。はい。
1:19:38	その方が、
1:19:40	いろんなものを使わなくて、はい、と思います。はい。はい。補足です。よろしく願います。せっかくなので少し
1:19:51	今の資料、なめていきたいんですけど、

1:19:54	1-1 はそういうことで整理を進めてください。
1:19:59	で、
1:20:01	一応その資料
1:20:03	昨日、別添云々って言ったのを元付けられたものは取り止めつつ、新たに別添という形を作りましょうというので先ほど、
1:20:13	紹介いただいたと、いうことだと思います。
1:20:20	前回
1:20:23	と再処理の方での整理で、マトリックスを作りましょうっていうのも類似のものになるかなと思うんですけど、現状だとその設備率の番号が入って、
1:20:36	書いてもこの資料 1 の別添だと番号が入るということですけど、番号入る前に全体体系整理しましょうねっていうぐらいのものを、最初の方でまず作り、それがその概念が整理されると。
1:20:48	リストの方作りこみに入って、番号が入ってくるというふうに
1:20:56	進化していくというか、整備されていくと。
1:20:59	ということになるのかなってイメージしてますけど、同じですかね。はい。ニューメディアでございます。はい。おっしゃっていただいている方、はい。
1:21:07	はい。補足ですわかりました。
1:21:09	あと悩みで言われてた、資料 2 がねと資料 1 の別添にならないんですけどね。っていうのも、
1:21:19	これは大本からその悩みは持っていて、あまり綺麗に順番にって無理ですよっていう割り切りましょうって話はもともとしましたから、
1:21:29	それでいいんだと思います。そうすると、資料 2 の整理をしたものが、
1:21:36	横軸なりに入り込んでるのもおかしくはない。はい。
1:21:40	ということなので衛藤。
1:21:42	もう一つの資料で、悩みで言われた、何ページか案一案にいつちゃうのは、
1:21:49	の方でしたかね。
1:21:52	違うな。
1:21:53	23 ページが、案の 1 で、条文と基本設計方針の番号が繋がって、
1:22:00	25 ページの方が、条文番号だけの方でこの 23 ページのやつの方が意味があるかなという気は。はい。はい。規制庁、
1:22:10	私もそう思ってます。衛藤案 2 と言ってる方だと先ほど言われたように、バーだとか何とかっていうと、結局よくわからなくて資料 2 と見比べたりしてとかってなって、

1:22:23	また大変になっちゃうので、
1:22:25	案の1の方でいい。
1:22:28	です。
1:22:32	ただ、
1:22:35	分類はこれでいいと思うんですけど、
1:22:40	横軸が今
1:22:43	グローブボックス
1:22:44	複数オープンボックス云々っていう等、共通のものっていう枠と、
1:22:50	グローボックス単品のものっていう表現になってるじゃないですか。
1:22:55	交じっ層厚なんだと思うんですけど。
1:22:58	この枝番で入ってる内容が何かっていうのはやっぱりわからないと。
1:23:04	この表現だと、
1:23:08	縦軸との間、縦軸と横軸一緒じゃんみたいに見えちゃってよくわからないので、
1:23:13	その枝番で入ってる、何を説明する枠なのかっていうのはわかったほうがいいのかあっていうふうに思うんですけど、何かうまくできます。三 明西原でございます。はい。
1:23:24	やっていただいている通りだと思っていて、あと
1:23:28	23 ページでいくと十条のA-01、これ閉じ込めとしてのメインの柱になっ てる条文の行政教授はい。
1:23:38	10-10 条の 4 号 13.2 と何が違うんだと。これはグローブボックスのポ ートが 1 個外れた場合みたいな話をしているものがここに入ります。こ れ取りながらも、ふと思ったのが、資料 3 に行くと、
1:23:51	さらにこれオープンポートボックスだけと。
1:23:54	フードだけのやつがいるんで、それもないと多分駄目なんだなと思いな がら、そういうことを考えながら、どこの要望は考えていきたいと思う。
1:24:02	だから、この条文で何言ってるかって基本設計方針と、内容がある程度 わかるように、かつ長くならない。
1:24:09	キーワードを変えて、紐づけたいと。
1:24:12	はい。コサクですよろしく申し上げます。そういう記載イメージができる とおそらく再処理の方も整理ができるようになると思う。
1:24:18	ですよ。具体が見えてなくても、概念的にこういうもんだよねって話がで きるような気がするので少し検討いただければと。
1:24:27	はい。

1:24:33	規制庁審査ベース元に戻らせていただくと1-6は先ほど介護資料イメージということでお話をしたという。
1:24:41	共通12はねる部分もあるんで、整理をして、また、次は共通12のバージョンでっていうことになりますけど、示していただいてそのときに、
1:24:53	会合資料ではここ押せ、
1:24:56	オダしながらというつもりで作ってますということで、紹介いただければいいかな。
1:25:02	ます。そうこうしてるうちに、
1:25:04	次の段階はそれぐらいでいいですけど、
1:25:07	もう少しすると、介護資料はもう出してきましたっていう事件になるでしょうから、そのときに、新たに作るみたいなことにならないようにしていただければと思います。
1:25:19	その次1-7。
1:25:24	わあ、それは本文、
1:25:27	そうですね。はい。なのでさほど問題はないかと思うんで、次で示していただければいい。
1:25:34	ます。
1:25:37	次もそうですね、手順みたいな程度最新化するって話なのではい。
1:25:45	その時は会社話し合って対応してください。
1:25:49	ということでその次資料1に関するコメントというところは、
1:25:58	等絶対整理されればいような気はするん。
1:26:07	はい。です。
1:26:08	どう、
1:26:10	ここは、
1:26:11	あれ、今日は、
1:26:13	特に何か、始めてないので、特にですねここ、
1:26:18	1-10とか1-11を単純な整理をどうするかだと思っていて1度中には、この間、藤原さんからしていただいて
1:26:29	換気のグローブボックス排気設備と外部放出抑制設備と交換のIKとナカーモニタリングこれが、
1:26:38	これはもうしているようでこれはもう知ってない、カーサがあって、かつどこでまとめて説明すべきなのかみたいのがよくわかんない状態になってたのでそこを整理するっていうのは、
1:26:47	実際の系統の内容も踏まえて説明できるように準備しようかなと。

1:26:53	はい。あとは、
1:26:56	ー13 は、変更箇所が
1:27:01	全体で同じように再処理とMOXやろうかなと思っていっぱい書いたんですけどもくせ全然項目が関係なくてですね。
1:27:07	横だけが変更点いっぱいあるんで、対象物絞って書こうかなと思って
1:27:14	あとは足りなかった丸がついてなかったりってところはちゃんと整理をしてやるということ。
1:27:21	はい。
1:27:23	新野ニワさっきの、
1:27:25	はい。
1:27:27	はい。
1:27:28	わかりました。
1:27:33	振り返りをこれでしていただいているというような感じで、実際に出していただいたところで確認がとれるかなと。
1:27:41	はい。はい。
1:27:49	衛藤規制庁コサクですそれで言うと共通順位として出してねといったときに、資料 3 と資料 3 で必要な資料に、
1:27:59	は、整理をされる、出されるっていうのは当然だったんですけど、資料 1 ワー設備リスト一式になっちゃって、
1:28:09	そのグループ 1 に関係しないものも入ってきちゃうところですけどそこはどう進めます。
1:28:15	思うんですよね。おっしゃっていただいて、資料 1 が、結局はボリュームがボリュームなので、
1:28:22	毎回毎回をつけるってなって気がしますが、そこでも資料 1 に対していただいているコメントをどう修正しましたかっていうのは、
1:28:33	これは多分別に資料作った方がいいですねここだけは、その場パターンの場所だけ該当部分で、こういうふうに直していきまして、なぜならこういうことだからみたいなことをつけるっていうのを、
1:28:43	それは別の資料としてセットにして、資料 1 を毎回出すことはあまりしないように、はい。
1:28:49	はい。昨日も変えましたそうしていただいた方が我々もどこだどこだって探す手間もなくて済むので、資料 1 部分ワーQA主
1:29:00	資料の、

1:29:01	Cで、例示としてつけていただいて、資料1の整備方針的に、5日にどの程度のもので出していく予定みたいなことで、
1:29:12	書いていただければいいかなと。
1:29:15	思います。
1:29:19	規制庁補足です。その次が資料2で資料2は今の、これまでの話で、ここをどういうふうに変えていくべきかみたいな話を少し、
1:29:29	議論が深まったかなと思いますので、進めていただければと思いますけど。
1:29:39	等特に
1:29:42	評価との繋がりというところもあるとは構造設計、
1:29:47	か、繋がる場所にもなりますけど、構造設計の書き方としてなるべく
1:29:53	冗長にならず、段階を追って説明ができるようにということでの文章の
1:29:58	と、
1:29:59	素行精査必要なものっていうのが、抜けないようにどうチェックできるか、チェックしやすいような、作業主事って感じですけど、対応いただければと。
1:30:10	思います。
1:30:13	この枠では、あと、
1:30:17	3、
1:30:20	今言われたところですね評価ということでだったり、代表性集等の関係あと、これはあくまで1の15の書き方をどう整理するかってとこだと思うので、
1:30:31	代表。
1:30:34	頑張って提出しますっていうことではなくて、代表でやる者もいれば、そいつをPで説明しなきゃいけないものも実態がちゃんとわかるように記載を整理をしようと思う。
1:30:44	はい。
1:30:46	はい。
1:30:53	はい、規制庁、そういった記載ぶりだと思うので、整理をして、次回提示いただいたところで、具体。
1:31:01	こうなってますよということが見えれば、
1:31:06	収束してくる。
1:31:07	いうふうに、
1:31:18	はい。コサクその意味だと、今回

1:31:24	方針的に書かれ例みたいなことでちょっと書かれてはいるんですけど、
1:31:30	次共通 12 を合わせて出していただいたところと言えば、今日通常のページを、
1:31:37	例示として書いていただくとかっていいし先ほど言ったようにベッショ、その抜粋で別紙 2 をつけて、説明はできるように取得でもいいですし、もう少しわかるように、
1:31:49	まとめていただけると
1:31:51	合意
1:31:52	共通理解が図りやすいかな。
1:31:55	思いますのでちょっと、
1:31:57	もう 1 工夫。
1:32:10	はい。
1:32:10	規制庁、細木です。
1:32:12	資料 3 については先ほど具体案を示していただきましたし、
1:32:18	田野CEO。
1:32:20	ある程度知っていたかなと思います。
1:32:35	それで言うと資料 3 って、グループ 1 で対応できるものは一通り具体化できるってことでしょうか、グループ 2 側、
1:32:45	で対応するものとかっていうのがあった時はいくつか宿題事項にそれみたいなことでも構わない。
1:32:53	ええ。
1:32:54	整理ができる。
1:33:00	等、
1:33:02	今日の時点でクリアしておきたいこととかっていうのがあれば、
1:33:07	もう、
1:33:08	あれだって議論できたと思うんですけど。
1:33:10	郡、何かあります。
1:33:13	宮城西原でございます。
1:33:15	はい。
1:33:17	さっき考え方にそこがないかを確認したい点があった点は一応今日、いろいろとお話をさせていただいたので、
1:33:25	作業に移れるかなと。
1:33:27	入れます。はい。
1:33:29	はい、規制庁。

1:33:30	わかりました。
1:33:35	これの耐震の関係もありますけど、
1:33:38	もう一つの資料で、最初の説明で若干悩みのようにして言われて、
1:33:45	板野が、
1:33:49	耐震関係っていうのは、9 ページ以降で、
1:33:53	抜けてる形になって、
1:33:56	マスク等、
1:34:00	潰し込みの関係から言うと、9 ページまでのところっていうところは、
1:34:04	一応話は、6 ページの話も先ほど兄弟もちょっと考えてねっていうようなことで話のできたので、
1:34:14	でいいと思いますし、大本でいうと4 ページ。
1:34:17	の構成について別添でいいんじゃないんじゃないすかっていうことがあって、
1:34:27	話のできたかと思うんですけど資料2のその紐付け整理結果っていうのがあり、参考12があり、
1:34:35	いう古藤です。
1:34:37	先ほど何か紐づけ整理結果で云々という話をされたかのような気がするんですけど、
1:34:43	何か問題はあります。はい。いいですか。
1:34:46	はい、わかり。
1:34:48	基本的には
1:34:50	前回お話しした通りで資料1は、設備リストっていうことなので設備を主軸にした整理。
1:34:56	それが資料2での整理内容も含まれている。
1:34:59	いうこと、一方で資料には、条文、
1:35:03	主にした整理と、
1:35:05	いうことその中でグループ資料1の方で整理をされたグループとの関係で整理をする。
1:35:11	いうふう
1:35:13	いうので基本、整理がされてそれを少し別観点での集約ということで、
1:35:21	3項の方で評価項目だったり補足説明という次のフェーズでの作業との関連性を明確にする。
1:35:28	いうこともされていく。
1:35:31	理解をしています。資料3はそこで、その二つで整理がされた、

1:35:37	分類ごとの説明する資料 2 の項目の内容と、
1:35:41	いうのを、
1:35:45	具体的に展開される。
1:35:48	いうことで理解をしている。
1:35:52	へえ。
1:35:56	そのうち
1:36:00	添田伴 123 ということでシステム設計、構造設計配置設計と、
1:36:06	いうことでこれ一連されますよ。
1:36:09	現状だと構造設計の方がですけど、意識されますということで審査会合では、特に 02 の説明図というところを中心に、
1:36:21	いうことですけど、①についてはちょっと示し方は考えている。
1:36:26	いうことだと理解をして、
1:36:30	それと③番。
1:36:32	どんな感じになるんですかね。
1:36:35	はい。
1:36:36	丸不破です。はい。ただいま、
1:36:39	こないだつけたやつでも一応聞いて簡単なの。
1:36:42	資料 1 でいう変更点と言っているものを、資料 3 で受け取った上で、どの基本設計を市道の構造設計と、その変更点がリンクしてるか、それを具体的にどういう変更したのか、
1:36:56	サポート追加しましたとか、
1:36:58	ボルトふやしましたとかが、
1:37:01	結局使った図面はあんま変わらないんですけど、102 番でやってる図面に、逆に言うと着目点としてはこういう変更がありましたところに着目して、③番の図が出てくるっていう
1:37:11	それは基本設計方針なり上の資料 3 とのリンクを取った上で、紐づけて書くっていうのがイメージ。
1:37:19	規制庁コサクです。それで言うと、
1:37:23	介護本体で言えば②の中で、少し
1:37:28	変更ありますよぐらいがわかっている方がいいぐらいじゃないかな。
1:37:33	一応集約して、ノータリスをかけるっていうぐらいの、
1:37:38	共通中の③の意味はそういうことです。
1:37:41	はい。であれば会合はその程度でいいんじゃないかなと思うので、それが対応できるように、市共通 12 の②も作っていただいて、

1:37:51	その作業すれば、丸さんも作りやすいついていうことなんだろうと思うんで。はい。
1:37:58	はい。
1:38:00	そうしたら、
1:38:03	耐震関係っていう
1:38:05	んで、
1:38:08	11 ページは
1:38:10	してある。
1:38:13	ええ。
1:38:15	13 ページで、まだ右側の欄の各添付で書くべきことっていうところ 2、その左のところの文章がなってないので、
1:38:27	その概念をちゃんと意識して分、ここでは何を書きますここでは何をかけますと。
1:38:33	いうことで整理をされるっていう説明だったと思うので、そうだなと思う。
1:38:39	ていましたから、対応よろしく願います。
1:38:43	いうことで、そう。その元になってるのが 19 ページと、19 ページはこれまでも、第 1 回からさんざん議論をしたことなので、
1:38:54	どこで何をかけていくかは理解はしてあると思ってて、それがどの程度っていうところがちょっとまだ足りないってことなので、それはその前のページのところのアノか。
1:39:05	書き込みをしていただければ認識が合ってくると。それが先ほどの機能維持の記載をどうしていくかっていうことにも繋がると思うんで、よろしく。
1:39:17	20 ページ以降はそれがどう展開しますよという理解なんで、
1:39:24	大体
1:39:26	話をしたことが落とし込まれる、こういうふうに展開されるんだなということとは理解できたかな。
1:39:31	作業に入る。
1:39:41	はい、一応説明はされつつ、こちらからの応答がなかった部分も応答でしたかなと思うんですけど。はい。
1:39:51	もう資料、
1:40:06	ちなみに、
1:40:09	68 ページから表が幾つか入ってきてて、
1:40:14	構造設計を説明するのに表って何だろうという感じはあるんですけど、

1:40:25	入りますか。
1:40:28	はい、日本原燃板谷でございます。
1:40:31	経産省からそのまま持ってきただけなんで今、田野伊井式はしてます。はい。この温度だったり、どこから持ってきたかっていうのがちゃんとわかれば、イトウは取れるかなど。はい。それぞれでいうと、施設もそうですそれでまさに先ほど言った、
1:40:45	計システム設計とか、そっちの方でこういうようなものとしまして、
1:40:50	いうことでもいような気はするんですね。
1:40:57	カビですけど温度の話も、熱源となる気が、グローブボックスの中にこんなものがありますよっていうのがまずわかって、それでよくて、わざわざ表だけ出してるっていう話ではないと思っています。
1:41:14	はい。はい。ありがとうございます。はい、わかりました。はい。
1:41:17	なので、構造設計だけでやるからこういう変なふうになるので、
1:41:23	資料 2 のところ何とセットで、どこで説明するものなのかということを整理をして、その上で必要な場所に対応いただくということかなと思うんです。
1:41:37	はい。
1:41:44	73 ページも多分同じです。はい。
1:41:49	やっぱりここら辺は、評価側カラー無理っていうところが多分にあるんで、今日、先ほど言ったその評価から、構造に持ってかなきゃいけないものっていうのを、
1:42:01	しっかり認識をしていけばブラッシュアップできるんじゃないか。
1:42:05	はい。
1:42:09	はい。規制庁小阪です。私から一応ザッと今日の資料で議論しなきゃいけないかなと思うところは、お話ししたのでまたブラッシュアップしていただいて、
1:42:20	議論が深められればいい。
1:42:28	院長やマグチロッカー規制庁側から何か確認ございますでしょうか。
1:42:35	懸念は特に追加ですね。規制庁浜崎です。
1:42:40	ちょっと記載内容についてですね、30 ページ。
1:42:44	そうですね。これまだ添付の修正案を検討中ということなんですけれども、
1:42:48	前回のポイントですけども、
1:42:51	24 とか 30 番にするという広告条件。

1:42:55	今回、32 ページで記載を修正、修文をしてもらってます。ここ非常に小さくて見にくい。
1:43:05	具体的にはですね、おっきしたところの 63 ページ。
1:43:12	今回、新しく文章を
1:43:15	モリイ枠のところ、高速上、
1:43:19	これ、
1:43:21	趣旨は、ボルト一本じめのところは、Pしますと、はい。で、
1:43:26	読む以上は、
1:43:28	固定にします。はい。
1:43:30	もう、
1:43:33	これ、実際日本人を持ってある。
1:43:38	次のページ、15 ページとか、これちょっと中央クロックスかもしれませんけど、
1:43:43	ブロックの脚部のところ、丸と三角で、
1:43:48	確率については、委員のように指示
1:43:52	カードになってますけども、
1:43:54	他の図面見てもっと見て、
1:43:57	占めてますし、
1:43:59	この記載と本当に正しいですね。はい。
1:44:05	日本原燃石田でございます。はい。そこはすみません、私も本当かと思 いながらちょっと確認をしてなかったもので、次に確認して、しっかりと事 実に即した、
1:44:17	ほどほど評価しないといけないと思うので、どうなってるか具体を確認し た上で、展開をします。はい。はいお願いします。ここ
1:44:28	のところについてはオービィ第 1 回の時も、こちらの項目としましてです ね、最終的にはリアルに基づいて、複数の元締めの場合は固定にして ますっていうような、確か、
1:44:40	そういう記載で収まってると思いますので、ちょっと第 1 回と変える必要 があるのかな、ないのかも含めて、
1:44:48	ここの週のところ、もう 1 回見直し、
1:44:53	もう入ります。
1:44:57	ボルト切望はい。
1:45:00	基本的には複数本。

1:45:02	普通の、もう接合している場合には、その加力方法に関して材軸方向に軽くしている場合は固定になって、
1:45:11	モデル化としては、
1:45:15	それぞれ一以外に、はい。例えば、
1:45:19	例えば今のこの文章ですと、日本の場合どうするんですかとか、そうですね、1本と呼ぶってあれやねと。
1:45:31	はい、ご検討お願いします。はい。はい。
1:45:34	施設コサクです。今の 63 ページ。
1:45:37	なんですけど、これマスキング。
1:45:41	ですか。左上はマスキングですけど、
1:45:46	アンダマンなかってマスキングする。
1:45:49	はい。ゲームウエムラBフクダっていうのを、はい。どこの部位だっかわかっちゃうとそこが一本目かどうこうっていうことかもしれないですけど、でもこれ、
1:46:01	B部って言ってるのと一本って言ってるのは公開になってるので、
1:46:05	じゃあ、
1:46:06	この図面だけまずティングってどういうこと。
1:46:08	これって一般の図面でしょって、
1:46:13	漢字になってて、何かマスキングの仕方が中途半端
1:46:19	な気がします。
1:46:22	はい、西原でございます。はい。そうですね。
1:46:28	これもそうです。以前も
1:46:32	マスキングも言ったかなってやりとりがあった 65 ページの左の絵の右上ですかね、これも何でマスキングだろうっていう樹木がどうしても残るので、その辺をちょっと精査をして、はい。不要なところにマスキングがないように、
1:46:47	はい。定義をさせていただきます。はい。少なくとも今のやりとりの中にマスキングしなきゃいけないやりとりないですよ。
1:46:55	思うんですけど、一応念のため確認してもらって。はい。
1:47:03	これも評価の時にこういう締結のものはこうしますわその等、その通りと いうかちゃんとしてくれればいいんですけど、
1:47:11	構造設計で言えば、
1:47:13	こういう場所はこういう締結します。自己補味高校横方向、直方向を拘束しますなのか、ピン支持の、

1:47:24	評価で良いものにしますなのか。
1:47:27	その選択をどういうふうにしてるんだっていうことが構造設計であって、
1:47:32	こういう評価にするのでこうなんですっていう説明じゃないはずなんですよね。そうするとこの部位は何Dぴんぴんにしてるんだとかっていうことを説明するのが大事であって、まだそこまで行き着いてないような気がする。
1:47:48	その点整理する等、大分解決してくんじゃないかなと思いますのでよろしくをお願いします。
1:47:54	はい。乳井ニシダでございます。はい。
1:47:57	いたしました。おっしゃっていただいたようにこれ、62 ページから 64 ページなんかも順番になってるんですけど、
1:48:04	62 なんかもどちらかという構造としてどうしたいかみたいなこと書いていて、
1:48:08	64 に言っても同じように構造設計と固定の仕方としてどう考えますかみたいな話になってるんですけど、真ん中にある 63 だけがちょっと見てるっていう、突然評価側に寄った形になってるので、この整理をして、しっかりと構造として内容、
1:48:23	しない考えなきやいけないかっていうことを展開していくということで整理をさせていただきたいと思います。
1:48:30	古作です。64 ページにもう、これを何本で止めているのか。
1:48:37	牟田津野。
1:48:40	アンカーのことを書いてありますアンカーと機器の取り付けをつけはどうなってんのとか、取り付けをどうなってるのっていうのはないわけで、
1:48:50	そこが 2063 ページ下にあるんだとすると、
1:48:55	そこ分けても意味ないよねっていう感じですし、
1:49:00	ということで、やっぱり、どちらの方面から見ても宙ぶらりんっていう感じが。
1:49:05	するので、
1:49:09	それこそ野本さん。
1:49:10	はい。もう耐震設計してれば、普通にここはこういうふう固定しようねとかって思って設計をされ、評価につなげると。
1:49:19	いうのは自然にやってることだと思うので、
1:49:23	少し、
1:49:25	見てあげていただけるといいかなと。
1:49:28	何これ説明してんのっていう疑問に思うと思うので、

1:49:32	よろしくお願いします。
1:49:34	ちょっとあまり関与できなくて、すいませんちょっとちゃんと書いてしまいます。
1:49:44	瀬谷ヤマグチですとか、1 オガワから先、
1:49:52	よろしければ、
1:49:58	やはり、
1:50:09	今日は、いや、
1:50:12	今日はいい。
1:50:14	向こうのメンバー的、今日、マックスで固めたんで、
1:50:18	行きましょうか。
1:50:20	はい。
1:50:20	ヤマグチせ、それで
1:50:24	海脚さんで振り返りをやりたいと思うので、十分、
1:50:29	案件じゃないでしょうか。はい。
1:50:30	それでは、16 時 50 分再開で一旦休憩をとります。
1:50:36	肯定します。
0:00:00	規制庁ヤマグチですロックを開始しましたとそれでは日本原燃から振り返りをお願いします。
0:00:07	はい、乳井西原でございます。6ヶ所すみません、画面をもうちょっと見えない。
0:00:15	そうじゃないかな。
0:00:17	左を消すとか、
0:00:20	はい。
0:00:21	ちょっと今後の進め方も入っちゃってますけどポイントだけでさらっと流します。
0:00:29	MOXの構造設計等の説明、これ、MOXの高度設計等言えば最初イデの説明分類とかSAの整理っていうところ全体含めて共通人としてどう進めていくのかっていうのを、
0:00:40	整理をした上で、スケジュールおとさせていただくという話をさせていただきました。
0:00:44	はい。あと再処理の方はSA側の1ポツ2ポツの整理ですね、これ先ほどの全体の整理の中で、どういう関係にあるかっていうのも含めて整理をした上で、

0:00:55	どういう順番で何をやるのかっていうのとスケジュールリンクを図るということ。
0:01:01	あとは、竜巻のところは、概要とか図を示すものがまず対象、多分明らかにしなきゃいけない、抜けがないようにということかと思います。はい。
0:01:17	はい。耐震関係。
0:01:19	これ、1日の補足説明資料の反映これ表層とか下水から
0:01:25	それに溶け込ませるのか、読み込んで、独立にするのか適切なやり方を仕上がりながらやること。
0:01:34	いうことと、二つ目が当該資料、この進め方資料、進め方の資料の記載は内容を端的に整理すること。
0:01:46	はい。最後スケジュールのところは、
0:01:51	今回、前回のやりとりもあったので、
0:01:56	許可とかIIIASとかいろんな関係するもの全部シールスケジュールとして、見える化していくってことをやらせていただきました。
0:02:04	あとは直近の情報が反映されてなかったりっていうのもあるのでそれを最新化していくということ、あと許可について特に補正の前にやることと補正と、
0:02:15	トータルでやるとかそういったのもあるのでそれ全体のスケジュールがわかるようにさせていただきます。
0:02:20	SSSの方は検討トーセさんとは整理した上で、スケジュール的にどういうふうにやっていくのかっていうのを整理をしてスケジュールとリンクを図るということかと思っています。
0:02:31	はい。あとは今後の進め方のやり方は、
0:02:34	社内で支援チームの中でも議論をして、ぶれるかは別途また説明させていただきたいと。
0:02:42	やっていて意味がとてもあるんだと思いながらやり方をどうするか。
0:02:45	はい。
0:02:47	あと全体のスケジュール、これに直したものを、ちょっと段階的になっちゃうかもしれませんが、来週前半には随時提出で提示させていただきます。
0:02:57	あと、共通12の方です。
0:03:04	委員会の資料の提示の仕方として共通にそのものをパッケージに出すと、ただ資料1とかパッケージにして、何度も何度も出すのが面倒くさいものもありますので、

0:03:17	お互いにそこは何を対象にしてっていうのとあとは資料の修正方針の
0:03:22	リストのコメント対応の別添とか添付とかでつけるものとのすみ分けをして、資料の整理をさせていただきます。
0:03:30	ということです。はい。
0:03:35	③番がいきなり出てくるのは、これはあれだな、これ耐震の絡みの
0:03:41	耐震設計のプロセスから、導き出したニノイチのやつを添付書類との紐づけでどうしていくかというところは添付書類の中身どういった添付書類等でなければいけないのかっていうのを含めて、
0:03:53	目的との関係で添付書類に記載すべき事項を整理をして、細分化していくと、いうことをやるという。
0:04:03	あとは、
0:04:07	資料3の②を出す時と事故名だけのものもあれば閉じ込めと耐震がコラボするものとは他のところとコラボするものもあるので、そういったものの全体像がわかるようにということで、
0:04:19	資料3の②の頭に目次的なものをつけるということで整理をさせて、
0:04:24	ます。
0:04:25	あと⑤番は審査会合との関係ですね、審査会合の内容を説明するかっていうのを意識した上で資料3の②の書き方だったりなんなり、
0:04:33	いうところを整理をしていきたいと思います。
0:04:37	はい。
0:04:40	ええ。
0:04:43	6番は、審査会合の本体で、どういう説明するかということで、今回の対象物等他のグループとの関係ですかね。
0:04:52	わかるようにということでそもそも閉じ込めの大グループ1で説明することが結構曖昧に書いてあるのでそこをブレイクして書くということかと。
0:05:03	はい。⑦番は、これは構造設計の×年としての数字であったりというのがどこリンクしてるかってのちゃんと紐付けていくということだと思うので、そこで代として、
0:05:16	あくまで圧力とか出てるのは、例示だと思ってますので、説明も含めて整理をしていきます。
0:05:23	はい。
0:05:24	⑧番は、グローボックス閉じ込めの担保としての構造設計の展開と耐震との紐づけですね、かなりぶっ飛んでるところがあるので、
0:05:35	ちゃんと丁寧に、段階的にちょっとそれぞれの紐付けができるようにさせていただきます。

0:05:40	あとはハッタ資料 3 の、
0:05:44	①の表での構造設計の説明だったり、資料 3 の②の図の中について、 いろんな吹き出しの言葉だったり、或いは
0:05:53	文章が長い。
0:05:54	くて、何を書いてるかよくわからないところがいっぱいあるので、その記 載の程度であつたり記載の仕方を類型化してルール化するというこも 含めて、ぜひ、
0:06:04	はい。あと 9 番はハバサキさんかなともう本当にこうかっていうところ ですね防止の話は、ファクトを整理するのとあとはマスキングの話です ね。
0:06:14	余分なところマーキングしてないかってのはいま 1 度チェックをさせてい たきます。
0:06:18	はい。⑩番も、それと同じですね。はい。固形の仕方との関係あと図の 中で、
0:06:27	全体の構造を示しているものが言いながら、そのパーツのどこの部分 とリンクしてるかもよくわかんないのが 63 ページで出てくるので、それ は全体の構造としての紐づけをしながら、
0:06:37	どこの説明をしてるのかっていうと、他との関係はどうなのかっていうの がわかるように整理をさせていただきます。
0:06:44	あと 11 番は、すみません何をつけるか悩んだ結果だと思んですけど、 ポンと表だけ貼ってある人たちは、しっかりと構造設計として何説明 するのか、どこと紐づいているかが整理できれば、
0:06:56	何かそこであまり説明することなくて、どこどここの設計によりますみ たいな話なのかもしれませんけど、整理をしていきたいと。
0:07:05	はい。12 番は、あれですね先ほど申し上げた資料 1 の扱いの話、あと は、
0:07:16	これもコメントリストで書く時ですね 13 番目、資料に対するコメント資料 3 との繋がりを考慮して 00 をつけるなりの、
0:07:26	考えて資料に資料、資料 3 の抜粋を付けるかなんなりと資料の構成と しては、同じものに、
0:07:34	なるかもしれませんけど、拡大したり何かいろいろ工夫しながら、
0:07:38	廃止しようとしての意味合いを考えて、
0:07:41	提示させていただきます。はい。
0:07:44	以上です。
0:07:53	はい。はい。はい。

0:07:56	はい。
0:07:57	山道です。全体を通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:08:04	規制庁コサクです。振り返りとしてはこれで結構だと思うんですけど、途中も話したようにこれをその作業プロセスに乗せるという時には、もう少し整理をしたり、方針を明確にしてってということが、
0:08:17	あった方がいいのかなと思いますんで社内でよく検討して対応いただいて、そこら辺をこちらにも説明いただくと。
0:08:27	お互いに認識共有され、作業
0:08:31	落ち着いてできるんじゃないかと思いますのでよろしく。
0:08:34	はい。
0:08:35	峯でございます。はい、ありがとうございます。はい、そうさせていただきます。はい。
0:08:42	店長から。
0:08:44	何かございますでしょうか。
0:08:49	それが、
0:08:53	本日はヒアリングを終了しますので、本提出